

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	燕市における地域産業活性化等および新規産業・企業誘致のための F S 調査
補助事業者名	燕市
補助事業の概要	<p>燕市において風力エネルギーを利用できる地域を見出し、地域での具体的な小風力による電力利用の方法や経済効果を提示することで、小風力発電による地域産業及び地域経済の活性化等を推進する目的として、以下の調査を実施した。</p> <p>① 小風力発電 FS 調査</p> <p>1. 小風力発電に関するポテンシャル調査 燕市内の 5 地域に風向風速計を設置し、風況を測定し、燕市内における年間平均風速を推定した。</p> <p>2. 経済活性化等の経済性評価 ポテンシャル調査結果を基に、燕市内における優れた風力発電機器の例示、燕市内の事業者において設置運用した場合をモデルケースとした試算、メンテナンス事業者や運用維持に関する費用等を整理し、小風力発電導入における経済性の評価を行った。</p> <p>②調査結果を活用した小風力エネルギー利活用の機運醸成</p> <p>1. 小風力エネルギー勉強会の開催 事業者向けに小風力を活用した再生可能エネルギーの活用可能性について勉強会を開催した。</p>
事業費	38,555,000 円
補助金充当額	38,555,000 円
定量的目標	<ul style="list-style-type: none">・ 燕市における小風力発電の活用ポテンシャルの調査 風況調査結果を基に年間の平均風速を推定・ 事業所における設置運用モデルの提示・ 調査結果に基づく、事業者への利活用勉強会の開催
補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	<ul style="list-style-type: none">・ 燕市における小風力発電の活用ポテンシャルの調査 風況調査から燕市全域において小風力活用のポテンシャルが存在することが確認された。・ 事業所の置ける設置運用モデルの提示 事業所をモデルとして設置運用における経済性を示すモデルケースを試算し、小風力発電導入による運用効果や経済性があることを確認した。・ 調査結果に基づく、事業者への利活用勉強会の開催 33 名の参加があり、実施後のアンケートでは、「小風力

	発電の導入を検討したい」「小風力発電の続報を期待する」などの回答があり、燕市における小風力発電の利活用の機運が醸成された。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約の目的	次世代エネルギー活用可能性調査業務
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方	備前グリーンエネルギー 株式会社
	契約金額	38,555,000 円
来年度以降の事業見通し	本補助事業によって、燕市域において小風力発電のポテンシャルがあることが証明されたことから、引き続き調査報告書を基にした小風力発電に関する情報発信を行うほか、その実用性を事業所へ PR し小風力エネルギーの活用を横展開できるように令和5年度中に実証用小風力発電機の設置に向けた設計等準備を進め、令和6年度の稼働を目指す。	